

**平成 25 年度
公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告**

総括的概要

平成 25 年度は、アベノミクスによる経済対策の一定の効果が現れ、日本経済は円安を背景に、輸出を主力とする企業においては業績の拡大が見られることとなりました。

しかしながら丹後を取り巻く環境は、各方面で積極的な観光客誘致の事業を推進しているものの、海水浴、カニシーズンの入り込み客の減少に歯止めがかからず、20 年前に比較し観光入り込み客は 650 万人から 550 万人と 100 万人の減少となっています。また、ちりめんの生産量も大きく落ち込み、地域を支える主力産業の停滞が見られます。

これを受け、労働人口の都市部への流出が続き、地域全体に大きな影響を与えています。

このような厳しい経済・経営環境の中において、当センターの展示即売室も入り込み客の減少、販売額の減少が大きな課題となっています。

25 年度においては、これら喫緊の課題を克服するため、地域の加工品・農産物等を首都圏を中心とする直売チェーン店で販売するとともに、26 年度年に向け新たなビジネスモデル構築の準備に奔走した 1 年でした。

以下、本年度の事業内容をご報告いたします。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業 1）

1 地域ものづくり支援事業

企業からのパッケージング、商品表示ラベルの表示方法等の相談を受け、商品開発、販路開拓の支援事業を実施しました。

II 人材育成事業（公益目的事業 1）

1 ICTリテラシー人材養成事業

平成 22 年度 ICT 人材育成活用による丹後産品集積活性化事業で整備した情報端末を使用し、丹後産品製造者に対する ICT に対するリテラシー向上を目的に下記講習会を実施しました。

（1）携帯端末機講習会

- 日 時 平成 26 年 2 月 9 日 午前 10 時から午後 12 時
- 場 所 当センターコンピュータ研修室
- 受講者 生産者 4 名

2 丹後産品コンシェルジュ養成事業

地域産品の魅力を発信する人材の育成を図ることを目的に4名を雇用し、以下の取り組みを行いました

- (1) 消費者等への対面販売による販売スキルの強化
- (2) 首都圏の消費動向等の情報収集等
- (3) 地域産品の商品知識の習得
- (4) 丹後地域の情報発信

3 地場産業の体験講座開催

研究開発棟を活用し、染色技術の習得による製品化を念頭に網野染色研究会の会員を対象とし年間を通じ染色技術の指導を実施した。

また、スキルを身につけた会員による観光客等を対象とした染色体験を随時実施し249人を受け入れしました。

地域の地場産業である着物の着用機会の増進を目指し、一人でも着用できる着物着付教室を京丹後市職業訓練校と共催で実施し、9名の指導を行いました。

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) T a n g o G o o d G o o d s 認定事業

事業開始以来14年目を迎えるT a n g o G o o d G o o d s 認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。毎年改正される商品表示法については最新の状況を審査基準として採用し、認定品としてのコンプライアンスの指導を行い、アレルギー表示の他、着色料・保存料等の表記についても製造者の意識を高め、T a n g o G o o d G o o d s としての質的向上を図りました。また、認定品へのT a n g o G o o d G o o d s ロゴシール貼付指導を推進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

ア 認定状況

(ア) 申請状況

申請者数44業者、申請商品数87点

(イ) 認定状況

認定者数43業者 認定点数83点

通算（平成23年度～25年度）認定者数94業者、認定

点数 269 点

(ウ) 優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は3点が表彰されました。また、本年度から優秀産品を示すロゴシールを作成し、配布を実施しました。

イ Tango Good Goods 認定推進委員会開催

認定事業実施においては、認定推進委員会委員10名に就任いただき認定について協議いただきました。

(ア) 第1回 Tango Good Goods 認定推進委員会
平成25年4月25日 午後2時開催

(イ) 第2回 Tango Good Goods 認定推進委員会
平成25年6月28日 午前10時開催

(ウ) 平成25年度 Tango Good Goods 審査会
審査員として専門家（デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー）3名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会日時 平成25年6月26日・27日

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施

ウ Tango Good Goods 認定品カタログの作成（B to B用）及びバイヤーへの配布

平成25年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等でバイヤーへ配布しました。作成部数1,000部

(2) 第15回 Tango Good Goods 見本市の開催

第15回目となる丹後ブランド産品見本市を京都丹後ブランド産品会との共催により、京丹後市丹後あじわいの郷において開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内PR及び流通促進を図りました。

2 商談会出展事業

丹後産品の全国流通を目指し、国内最大のトレードショー「第75回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2013」おしゃれ雑貨&レザーグッズフェアブースに出展し、地域の魅力を基本としたVMDにより商談を展開しました。

3 京都丹後ブランド産品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

Tango Good Goods 認定事業者のなかで地域外へも、その販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド

産品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

(1) 主な事業

- ア 都市部での丹後のええもんうまいもん展の開催
- イ 展示即売会等の開催情報の提供
- ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布

4 ICT人材育成・活用による丹後産品集積活性化事業

平成22年度に整備したシステムを活用し、R e 丹後有限責任事業組合を中心に、丹後産品の集積と販売流通開拓を実施しました。

また、日本最大の農産物直売チェーンのわくわく広場（株式会社タカヨシ運営）と提携しており、25年度は首都圏を中心に新たに7店舗に丹後産品を供給するルートを確保しました。

5 展示ギャラリー活用事業

地域でものづくりに励む、企業、団体、個人等の作品発表の場として、1階展示ギャラリーを提供するとともに、センター及びセンター出展者会による情報発信の場として活用しました。

6 丹後・食の王国ビジネス連携会議

丹後地域の農産物や加工品の市場評価を高めるとともに、新たな商品の開発や販路の拡大を関係者との連携により推進するため設置された丹後・食の王国ビジネス連携推進会議の運営業務を行いました。

IV 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月アミティ情報を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の経営基盤強化及びセンターとの意思疎通を図ることができました。

2 センターホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できるタイムリーな情報を提供する

ことを心がけ地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンターのホームページとして発信するとともに、消費者が直接丹後産品を購入できるECサイトを運営しました。

また、アミティ丹後及びホッと丹後のブログを引き続き運営し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客を図りました。

3 アミティ丹後出展者会

アミティ丹後出展者会議を随時開催し、即売室情報を基に商品展示方法、企画展開催などの情報交換及び事業を行いました。

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ190業者の地場産品約2200品目に及ぶ製品を展示しており、来館者の注目も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただいています。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。

店舗における購買動向を分析することで、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎となっています。

また、店舗における商品の見せ方を工夫することで、商品の特徴、魅力をアピールするVMDに努め、出展者の商品の魅力発信力を強化するとともにバイヤーへのVMDを含めた商品提案を行いました。

2 丹後産品情報発信事業

消費者向けカタログ（中元・歳暮の2種）の作成配布、ECサイトの運営を行い、丹後産品を全国に向け広く周知しました。

VI 丹後ブランドチャレンジショップ運営事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランドチャレンジショップ運営事業

大都市圏での丹後情報の発信、地場産品PRを推進することを目的とし、宮津市、京丹後市、与謝野町との連携により各市町の特産および地域PR、サテライト販売、生産者直売など多角的に展開し、都市部でのデータを収集するチャレンジショップ及びアンテナショップとして活用・展開しました。

また、25年度は運營業務を民間に委託し、民間への移行を模索しました。

Ⅶ 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター2階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

Ⅷ 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等の利便に資するため土産品としてキーホルダー等の販売を行いました

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設13年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き朝市を毎日曜日開催しました。

（1）たんご朝市春の感謝祭 4月28日開催

アミティ丹後出展者会との共催

（2）たんご朝市秋の感謝祭 11月3日開催

アミティ丹後出展者会との共催

Ⅸ 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
平成25年5月27日	○平成24年度事業報告・収支決算について ○第3回評議員会の開催について

平成26年3月28日	○平成26年度事業計画・予算について ○経理規程の改正について
------------	------------------------------------

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
平成25年6月7日	○理事の選任について ○評議員会運営規則の制定について ○平成24年度事業報告・収支決算について

3 監査会

開催日	内容
平成25年5月13日	○平成24年度事業・決算監査

4 新制度公益法人立入検査

開催日	内容
平成25年9月26日	○新制度移行登記の日から検査直前に終了した事業年度分に係る組織運営・経理全般